

令和 5 年度 事業 報告 書

(事業の概要)

1 研究助成事業

(計 画) 薬力学の研究に従事する若手研究者に対する研究費の補助として総額 400 万円 (4 名から 5 名) を助成する。

毎年、ホームページ上に募集要項を公開し、研究助成金交付対象者の公募を行っている。
選考方法は、審査委員による応募書類を審査のうえ審査委員会を開催し、その結果を理事会に報告する。理事会は当該報告を受けて、助成対象者を決定し、助成金を授与する。

(内 容) 募集要項は令和 5 年 6 月 20 日から令和 5 年 9 月 30 日まで、ホームページ上に公開したうえで、医・歯・薬学系の学部を有する、全国の国公立大学の研究支援・産学連携部門・広報部門等への周知のため、UMIN (大学病院医療情報ネットワーク) への掲載や各機関へのメール送信等でお知らせした。

その結果、22 名の応募者があった。

令和 5 年 12 月 12 日審査委員長より理事長あてに審査結果報告があり、令和 6 年 1 月 15 日臨時理事会において、下記 4 名に各 100 万円の助成金を授与することを決定した。

1. 瀬戸 克年 38 歳
所 属: 愛知県がんセンター 呼吸器外科部医長
研 究 題 目: バイオインフォマティクスに基づく間質性肺炎合併肺癌、術後急性増悪のメカニズム解析
2. 稲垣 雅仁 31 歳
所 属: 名古屋大学理学研究科物質理学専攻 (化学系) 特任助教
研 究 題 目: メッセンジャー RNA 医薬の部位特異的的化学修飾導入による翻訳活性への影響解明
3. 馬 潤 卓 39 歳
所 属: 東京医科歯科大学医療開発学講座総合診療医学分野助教
研 究 題 目: 新型片頭痛治療薬と心血管リスク: 抗 CGRP 抗体製剤の動脈硬化への影響
4. 周 越 36 歳
所 属: 富山大学学術研究部 (薬学・和漢系) がん細胞生物研究室助教
研 究 題 目: がんにおける受容体型チロシンキナーゼ EphA2 の機能解析

なお、助成金は、受賞者所属大学 (機関) の寄附金等受入規程に則り、6 年 3 月 7 日に各々振込手続きを

行った

また、研究助成金授賞式に関しては、学術講演会開催業務と重複し、対応が困難なことから、各受賞者に対して研究助成通知書を郵送した。

2 学術講演会等の開催及び助成事業

(計 画) 薬力学に関する学術講演会、研究討論会を開催し及びそれらに対する補助として以下を助成する。

- 2023年度「薬力学に関する学術講演会、研究討論会」の開催及びそれに対する補助として52万円(学術講演会等開催費用・助成金6万円、特別講演謝金1名分12万円、交通費8万円、会場借料6万円、印刷製本日20万円)を助成する。

(内 容) 今年度は、本研究会主催の学術講演会を令和6年2月29日(木)18時から20時まで御茶ノ水医学会館9階大会議津にて開催した。

開催に際してはポスターを作成し、配布・掲示した。

なお、講演内容は以下のとおり。

(特別講演)

鳥 山 一 氏 (東京医科歯科大学高等研究院卓越研究部門 特別荣誉教授、同大学、名誉教授)

演 題:「希少血液細胞である好塩基球の生体内での存在意義と病態形成における役割」

(研究助成金授賞講演)

藤 田 幸 氏 (島根大学 解剖学講座(発生生物学) 教授)

演 題 『神経軸索変性のメカニズム解明とその応用研究』

窪 田 理 恵 氏 (帯広畜産大学原虫病研究センター 特任助教)

演 題 『新規多剤耐性熱帯熱マラリア原虫株を用いた薬剤耐性関連遺伝子の探索』

辻 耕 平 氏 (東京医科歯科大学 生体材料工学研究所メディシナルケミストリー分野准教授)

演 題 『HIV 研究に学ぶ抗 SARS-CoV-2 ペプチドの創製』

以上の講演を行い、講演終了後活発な質疑応答が行われた。参加者は、研究者、薬剤師、製薬企業社員など多岐に及び、約30名が参加した。

講演会終了後、演者を囲む会を催し、今後の講演会の在り方など活発に意見交換がなされた。

また、研究助成金授賞講演者の研究を纏めた「薬力学研究会 助成研究報告集 2022年度」を作成し、3月中旬には、当該受賞者、本研究会 評議員、理事、監事、審査委員他関係者に配布した。

3 献体業務助成事業

(計 画) 薬力学の進歩発展のために、医学教育及びこれらに関連する献体業務に対し30万円を助成する。この助成は、医学教育に欠かせない人体解剖実習に必要な献体業務への支援であり、医療人教

育に貢献している。さらに、不特定多数の利益（健康増進と医療内容の向上）に寄与し、広く人類の福祉への貢献につながる事業である。

助成の実施に関しては、東京医科歯科大学より助成内容について申請を受け、内容について審査を行ったうえで助成を決定している。

(内 容) 今年度は、令和5年12月1日、東京医科歯科大学に対し、30万円の助成を実施するとともに、大学の献体の会事務局を通じて篤志解剖全国連合会の会費支援等を行っている。

4 教育助成事業

(計 画) 東京医科歯科大学大学院の教育の充実を図ることで薬力学の進歩発展に寄与するため、11万円を助成する。

当該大学院に対し助成するこの助成は、東京医科歯科大学大学院を支援、充実させることにより、優秀な研究者を輩出し、研究の進歩、高度化を図ることを目的とする。このことは不特定多数の利益（健康増進と医療内容の向上）に寄与し、広く人類の福祉への貢献につながる。

助成の実施に関しては、東京医科歯科大学より助成内容について申請を受け、内容について審査を行ったうえで助成を決定する。

(内 容) 今年度は、令和5年10月12日、東京医科歯科大学に対し、11万円の助成を実施した。

5 学術出版助成事業

(計 画) 例年刊行の助成を行ってきた「お茶の水医学雑誌」の廃刊に伴い、本年度は本事業を休止する。

(内 容) 本事業を休止とした。

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成していません。

令和6年5月
公益財団法人薬力学研究会